

大和市 つどいの広場事業

こども～る鶴間通信【No.205】



Insta

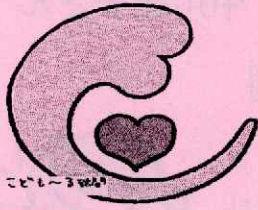


Mail



URL

2024.10.1 こども～る鶴間発行



《運営》

認定NPO法人

地域家族しんちゃんハウス

☆子育て親子の交流つどいの広場の提供

☆子育てに関する相談・援助

☆地域の子育て関連情報の提供

利用対象者 ☆講習会

★乳幼児：0～3歳児(誕生日から最初の3/31まで)と親(保護者)

★妊婦さん

《お問い合わせ》

電話：090-3685-2288(こども～るフォン)

場所：イオンモール大和4F(ライトコート側)

10月の予定

日		月		火		水		木		金		土	
前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
栄: 栄養士 助: 助産師 看: 看護師 子: 子育てアドバイザー 経: 子育て経験者 保: 保育士/支: 支援員				保・保 保・経		保・保 保・子		保・経 保・支		保・保 保・経		保・保 保・経	
		1		2		3		4		5			
		遊び		育		育		保健師による育児相談 A(13:35～16:35)				育	
保・保 保・経		保・保 保・経		保・保 保・支		保・保 栄・栄		保・保 保・経		保・保 保・支		保・保 保・子	
6		7		8		9		10		11		12	
				育		歯科衛生士による 歯磨き教室 (14:00～15:00)						育	
保・経 保・支		保・保 保・支		保・保 保・支		保・保 保・経		保・保 栄・子		保・経 保・経		保・支 保・栄	
13		14		15		16		17		18		19	
				a よみ		育		保健師による育児相談 B(14:00～16:00) 育				育	
保・経 保・経		保・教 保・支		保・保 保・子		保・保 栄・経		保・保 保・経		保・保 保・支		保・経 保・保	
20		21		22		23		24		25		26	
				育		育							
保・経 看・経		保・教 保・子		保・支 保・栄		保・教 保・支		保・保 保・経		☆こども～る鶴間のライトはなぜ暗くしてあるか ご存じですか？ 赤ちゃんの脳活動に最適にしているからです。 大人は明るいのが良いかもしれませんが、 赤ちゃんは違います。 光の刺激が強かったり多かったですと興奮してしまうのです			
27		28		29		30		31					
		育		育									

※各相談日の変更はInstagramでお知らせしますのでご確認お願い致します。

保健師による育児相談 A(13:35～16:35) B(14:00～16:00)	保育士による 育児相談 (14:00～16:25)	歯科衛生士による 歯磨き教室 (14:00～15:00)	管理栄養士による 栄養相談 (14:00～17:45)
ヨガインストラクター セルフケア相談 (10:25～14:00)	発育相談 (14:00～17:45)	絵本読み聞かせ a(10:30～10:45) b(15:30～15:45)	保育士/ボランティア による手遊び (10:30～11:00)

時間表♪	
①10:15～11:45	②11:55～13:25
③13:35～15:05	④15:15～16:25
⑤16:35～17:45	
人数の制限もありません♪ (状況により制限の場合もあります)	

世の中に子育てほど尊い仕事はありません。私達の未来を創る事であり、未来の幸せを可能にする仕事だから。

～笑顔ではぐくねっと～7月のスキルアップ講座より

2024.7.27 (土) 南林間コミセンにて

講師：臨床発達心理士／保育士 中川紀子さん

テーマ

『愛着 その後の体験の必要性』

子育ては、24時間365日休みなし。完璧の母親であろうと頑張りすぎてついついイライラしたり、大声を出してしまったり力が入れれば入るほど自分の思っている方向ではない対応になってしまう。そういったときは、まずは「よくやっているね」と自分で自分をさすってあげてください。あなたはとても大切なんです。子どもには落ち着いたら「さっきはごめんね。言い過ぎたね。」と【言葉】で気持ちを伝えてあげてください。深呼吸をして、肩の力を抜き、“ほどよい”関わりの方が子どもはよく育つとも言われています。



乳幼児期は土台の時期：「ころ」の土台の形成に大切な関わりは「愛着(アタッチメント)」といわれています。愛着の意味は、「くっつく」です。子どもは不安や怖いと感じたとき、お母さんやお父さんにくっついてきたりしませんか？ これを受け入れてあげることが子どもの安心基地となるのです。いつでもどこでもくっついていなくてもいいんです。不安や怖がってくっついてきた時に、タイミングよく特定の誰かが寄り添ってあげる。それを繰り返すことで子どもに安心感と信頼感が生まれ、自分から外の世界に足を踏み出していけるのです。

人が大好き：赤ちゃんにとって一番嫌な大人の表情は何だと思いますか？ 実は無表情なんです。赤ちゃんは人が大好きです。生まれて間もない頃から、お母さんの反応、感情をよく読み取ります。大人がお世話したくなるような赤ちゃんの反応や見た目の可愛さによって周りの大人が赤ちゃんを中心に関わりたくなったりしますよね。これは赤ちゃんがコミュニケーションの輪に大人を引き込んでいるんです。その中で、人の感情や物事の意味などを学んでいくのです。ですから、言葉が出ていない時期でも、赤ちゃんが注目しているものに「〇〇だね」など言葉を添えたり、反応をしてあげることが、沢山のことを吸収し、土台となり「言葉」でのコミュニケーションに繋がっていきます。

乳幼児期に必要な経験とは？：子どもはあそびを通して、我慢したり、慰めてもらったり、挑戦したり、失敗したりしながら、人とうまくやっていける社会性や自己コントロールを身につけます。乳幼児期の遊びの中で特に重要なのが、五感をつかう経験と試行錯誤(失敗)する経験です。子どもたちは「聞いたり、触れたり、見たり」する五感を通して、外の世界とつながっていることを知ります。これは特に自然の中だと育まれやすくなります。失敗は、なんでもスムーズにいく時よりも人を成長させます。愛着のある大人に見守られながら、失敗や試行錯誤の経験を乗り越えられることで自信などへ繋がります。



甘やかすと甘えさせ：似た言葉ですが、意味は違います。

◎子どもの言うとおりに何でもやってしまうこと(甘やかし)。お菓子買って、おもちゃ買って、〇〇したい、と言われ、買ったりやったりしてしまうこと。

◎子どもの情緒に寄り添った対応(甘えさせ)。子どもが甘えたい時に十分に受け止めてあげること。抱きしめたり、頭をなでてあげたり、手を繋ぐなど。これはたくさんやってあげてください。

子どもの育ちに大切なことは、安心できる環境の中で目いっぱい遊ぶ。その中で、今後の人生に大切な人との関わり方や生活の仕方などを身につけていきます。また大人から褒めて、認められることで、自分という存在を大切に、ちょっとした困難にぶつかっても自分の気持ちをコントロールしながら前に進んでいくことができるようになっていくのです。



取材／理事長 館合みち子